

高崎市史 上卷

復刊版

高
崎
市
史
上
卷

群馬地域文化振興会

高
崎
市
史
上
卷

序　　言

凡ソ郷土ノ文化ヲ奨メ、其發展ヲ計ラムニハ、歴史ノ研究ニ依リ一ハ祖先ノ遺業ヲ追憶シテ民心ノ緊張發奮ヲ催シ、一ハ治亂興亡ノ推移ヲ考察シテ將來ノ方針、百年ノ長計ヲ企圖セザルベカラズ、然ルニ本市ニハ從來是等參考トナルベキ正史良書ノ傳ハルモノ殆ド皆無ニシテ、居常頗ル遺憾トシタル所ナリ、是ヲ以テ大正十二年七月、時ノ市長土谷全次氏、市史編纂事業ヲ起シ、山内留彌氏ヲ起用シテ之レヲ擔當セシメタリ、爾來氏ハ資料ノ蒐集、並ニ編纂ニ從事シ、大正十四年十一月全ク稿ヲ脱ス、依ツテ翌月更ラニ丹下鎮象、天田瀧治兩氏ヲ委員ニ舉ゲテ校正補正ヲ依囑シ、本年八月始メテ鉛槧ニ上スルヲ得ルニ至レリ、惟フニ本

史ハ古來屢々大火ノ厄ニ遭ヒシノミナラズ、榮枯轉變究リナカリシヲ以テ舊家ノ現存スルモノ比較的少ナク、隨ツテ資料トナルベキ古記録類ヲ得ルニ苦シミ、而モ直接本市ニ關スル參考誌類ハ僅ニ高崎志、高崎砂子其他二三ニ過ギズシテ當事者ノ困難思ヒ半ニ過グルモノアリ、殊ニ編纂ニ關シテハ、執筆者ヲシテ自由ノ天地ニアラシメ、苟モ制肘ノ憂ヒナカラシメン爲、資料ノ撰擇配列及ビ史實ノ研究考證等、概ネ山内氏ニ一任セルヲ以テ、氏ノ苦心努力一層容易ナラザリシモノアリ、茲ニ其勞ヲ多シトス加之舊藩主大河内子爵家、故矢島八郎、故齋藤戒三、故大谷三右衛門及ビ小泉敬夫、深井寛八、大谷彦三氏等ノ各位並ニ各官公衛學校、其他有識ノ士ヨリ或ハ資料ヲ提供セラレ、或ハ史實ヲ示教

セラル、等直接間接ニ少カラザル便宜ト援助トヲ與ヘラレ、本史編纂上資スル所多大ナルモノアリ、茲ニ上梓ニ際シ卷頭ニ記録シ特ニ深厚ナル謝意ヲ表ス。

大正十五年八月

高崎市長從四位勳四等 青 木 道

例言

一 本市編纂ニ當リ、最モ多クノ資料ヲ提供セラレシハ矢鳥八郎、齋藤戒三、大谷三右衛門ノ三故人、及ビ編纂者先考ノ蒐集記録ヲ經トシ、其他各家ニ藏スル零本、或ハ竄書蝕本ヲ緯トセリ、而テ全ク記録ナキモノハ、故老ノ談話、口碑傳説ヲ參酌編述セリ、以上本事業ニ對シ、好意ヲ寄セラレシ各位ニ向ツテ、深甚ノ謝意ヲ表ス。

一 人物編ニ附テモ傳記ノ存スルモノ至テ尠ナク、其子孫家族ニ問ヒ、或ハ墓碑等ニ就テ記述セリ、而カモ本市有名ナル人士ニシテ尋ヌベキナク、又照介スルモ返報ナキモノハ止ムヲ得ズ闕如セリ、諸團體ニ就テモ亦然ルモノアリ、其他ニモ脱漏ナキヲ保シ難シ、斯ノ如キ類ハ他日之レヲ訂正セントス。

一 古文書ヨリ收録セルモノハ原文ヲ尊重シ其儘ヲ記セリ。

一 資料トシテ多ク記録類ノ蒐集ニ努メシ所以ハ、僅カニ存スルモノ、再ビ湮滅ニ歸セン事ヲ恐レシモ其一ナリトス。

大正十五年四月

編纂主任 山内留彌

高崎市史引用書目

- 野史 大日本史 群書類聚 日本外史 東鑑 厩牧令 和漢三才圖繪 閑田耕錄
梅松論 譯文須知 甲陽軍鑑 甲越軍記 和名鈔 大成武鑑 讀史餘論 地名辭
書 人名辭書 いろは字典 國史大字典 字源 明治大帝史 大日本教育史料 教
育五十年史 日本財政經濟史料 大日本地理 傳説雜記 日清戰史 日露戰史 日
本名跡圖誌 公律 十五聯隊歷史 衛戍病院歷史 上信日記 上毛故城壘記 上
野舊聞傳説記 上野史畧 上野名跡考 全名跡志 上毛紳士錄 上毛偉人傳 上
毛人物誌 上野三碑考 上毛及上毛人 群馬縣統計 全案內 淺間噴火記 天明
災異記 和田記 全系譜 高崎砂子 高崎志 もしほ草 高崎圖談抄 閻里歲時
記 高崎郷土誌 赤城小史 郡村異同考 高崎藩記錄 藩籍帳 席順帳 高崎城
大意 御領分石高記錄 高崎宿助郷帳 藩制錄 輝聲家記 高崎藩銃隊 下仁田
戰記 高崎藩近世史畧 御傳馬事件 猿田忠雄建碑記 征露紀念 高崎案內 高
崎商工案內 高崎地價坪數元帳 大火控帳 長野堰史 松原神社由來記 少林山
栞 八幡、八幡神社緣起 護國寺緣起 興禪寺緣記 大信寺緣記 邑樂郡誌 群馬
郡誌 總社郷土史 佐野郷土史 倉賀野郷土史 高崎醫師會誌 矢島氏諸記錄 齋
藤氏諸記錄 大谷氏諸記錄 各學校統計表 自家記錄
- 以上

石版及寫眞版目次

口繪 石版

- 一、高崎市全圖
- 二、和田宿古繪圖
- 三、高崎宿繪圖
- 四、高崎城ノ圖

口繪寫眞版

- 一、高崎市役所
- 二、歴代市長
- 1、矢島八郎
- 2、生澤一太郎
- 3、内田信保
- 4、古木秀太郎
- 5、土谷全次
- 6、青木道
- 三、高崎市街俯瞰圖其一（附日清製粉高崎工場）
- 四、同上其二
- 五、後奈良院 後陽成院御宸筆
- 六、公辨法親王御眞筆
- 七、源三位賴政ノ画像
- 八、同上筆蹟
- 九、井伊直政ノ木像（群馬郡箕輪町）
- 一〇、大河内輝貞ノ筆蹟

刷込寫眞版

- 反町清美ノ古文書（一）
- 大河内輝高幼時ノ戯画（二七）
- 水道取入場（二〇五）
- 劍崎淨水場（二〇八）
- 歩兵第十五聯隊ノ正門（三四）
- 明治初年ノ兵營（三三）
- 飛龍ノ松（三四五）
- 聯隊旗（三五）
- 相馬ヶ原陸軍演習地廠舎ノ一部（三五）
- 英靈殿（三九）
- 下仁田役戰死者ノ木像（四三）
- 藩札ト官札（四三）

高崎市史目次上卷

第一編 起原(一)

第一章 總說(一)

第二章 築城以前ノ形勢(三)

第一節國郡莊ノ大要(五) 第二節赤坂ノ莊(五) 第三節高崎ト和田トノ名稱(五)

第三章 築城(八)

第一節和田城(八) 第二節高崎城(八) 第一築城ノ概況(九) 第二廣袤(一〇)

第三要害ト諸門(一〇) 第四邸宅ノ布置(三) 第五市街ノ布置(三)

第三節位置及地勢(三)

第一編 變遷(一五)

第一章 行政(一五)

第一節總說(一五) 第二節維新以前(一六) 第一歷代ノ城主(一六)

一、和田氏(一六) 二、井伊氏(三) 三、訪諫氏(三) 四、酒井氏(三) 五、松平氏丹

波守(三) 六、松平氏伊豆守(三) 七、安藤氏(二四) 八、大河内氏(二五) 第一

代輝貞(二七) 九、間部氏(二七) 十、大河内氏(二六) 第二代輝規(二六) 第三代輝

高(二六) 第四代輝和(二九) 第五代輝延(三〇) 第六代輝承(三一) 第七代輝

德(三二) 第八代輝充(三三) 第九代輝聽(三四) 第十代輝聲(三五)

附 三大河内家系譜(二家畧譜)ト當大河内家歴代華押ト家紋(三三)

第二城池ノ結末(三三) 第三大河内氏初代ノ分限(三四)

一、大河内家初代ノ分限(三五) 二、近代ノ職制(四〇)

第三節維新以後(四四) 第一維新ノ詔勅ト告諭(四四) 第二藩籍奉還(四四) 第三藩

知事ノ任命ト告諭(四五) 第四藩知事時代ノ職制(四五) 第五重ナル官員明治

二年(五五) 第六廢藩置縣ト家祿奉還(五五) 第七置縣及變更(五五)

一、岩鼻縣(五五) 附岩鼻代官所(五五) 歴代代官氏名(五五) 二、高崎縣外七縣(五六)

三、群馬縣(五五) 四、熊谷縣(五五) 五、群馬縣及以上ノ歴代長官氏名(五六)

第八明治五年以後(五七) 一、區制施行(五七) 二、區廳規則(五七) 三、小區ノ町名

及役員其他(五七) 第九郡區町村編制法施行以後(五七) 一、町制施行(五七) 二、戶

長役場ノ改稱(五七)

第十町村制施行以後(五七) 一、町村制實施(五七) 二、日清戰役(五七) 三、郡ノ廢

合(五八) 四、煙草專賣所設置ノ經緯(五八) 五、戶籍法發布(五八) 六、市制施行ノ

準備(五八)